

令和6年度 年間学習指導計画案

科目	化学基礎	単位数	2単位	学年・学科・コース	3年・普通科・普通コース（文系）
使用教科書	啓林館 i版 化学基礎		副教材等	新課程 Visual Select 化学基礎ノート	

1. 学習の到達目標と評価の観点

学習の到達目標	<p>物質とその変化に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験などを行うことを通して、物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解させるとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。
---------	--

評価の観点

a. 知識・技能	b. 思考・判断・表現	c. 主体的に学習に取り組む態度
日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解し、観察・実験などの基本的な技能を身に付けている。	科学的な事物・現象を観察・実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けている。	物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。

2. 学習計画及び評価規準、評価方法

月	学習項目	学習内容（ねらい）	評価の観点			評価規準	評価方法
			a	b	c		
4	第2章 中和反応の量的関係 39. 中和滴定 40. 滴定曲線 第3章 酸化還元反応 41. 酸化と還元の定義 42. 酸化数 43. 酸化剤と還元剤	・酸や塩基に関する実験などを通して、中和反応に関与する物質の量的関係について理解する。	○			<ul style="list-style-type: none"> 中和滴定の実験を通して、実験結果をまとめ、分析・考察しようとしている。 酸化還元反応の定義を酸素や水素、電子の授受へと広げ、酸化数の増減により説明できることを理解しようとしている。 	定期考査 小テスト 課題 レポート 授業ノート 授業態度
			○				
5	44. 酸化還元反応の反応式 45. 酸化還元反応の量的関係 46. イオン化傾向 47. 金属の酸化還元反応	<ul style="list-style-type: none"> 酸化と還元が電子の授受によることを理解する。 この科目で学んだ事柄が、日常生活や社会を支えている科学技術と結びついていることを理解する。 	○			<ul style="list-style-type: none"> 酸化還元反応と物質量の量的関係について理解しようとする。 金属によって陽イオンになりやすさが異なることを、金属のイオン化傾向と関連付けて理解しようとしている。 	
			○				
6	48. 酸化・還元の利用 —電池— 49. 電池の仕組み 50. 酸化還元反応の利用 —金属の精錬—			○		<ul style="list-style-type: none"> 酸化還元反応や金属のイオン化傾向と関連付けて、ダニエル電池の基本的な仕組みについて説明することができる。 金属の精錬を通して、日常生活や社会を支えている科学技術との結びつきについて主体的に探究しようとする 	
				○			
7 10	化学基礎演習	・既習事項の演習に取り組み、知識の定着を行う。	○			<ul style="list-style-type: none"> 化学基礎の内容について化学的根拠をもって論理的に考えることができる。 主体的に演習に取り組むことができる。 	
					○		
11 以降	共通テスト対策演習 二次試験対策	・入試問題等の演習に取り組むことで、これまでの既習事項との関連を見出す。		○		<ul style="list-style-type: none"> 既習事項を結び付け、化学的根拠をもって論理的に考えることができる。 主体的に演習に取り組むことができる。 	
					○		